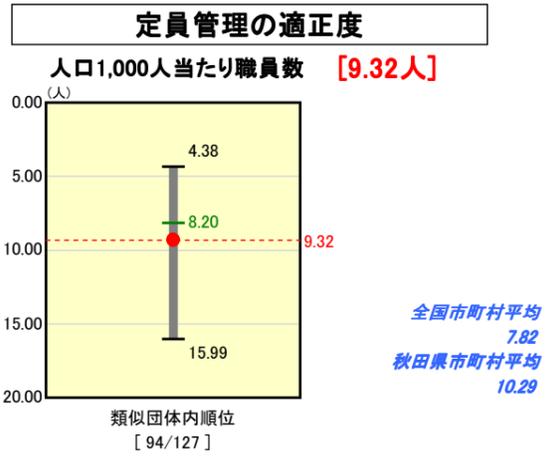
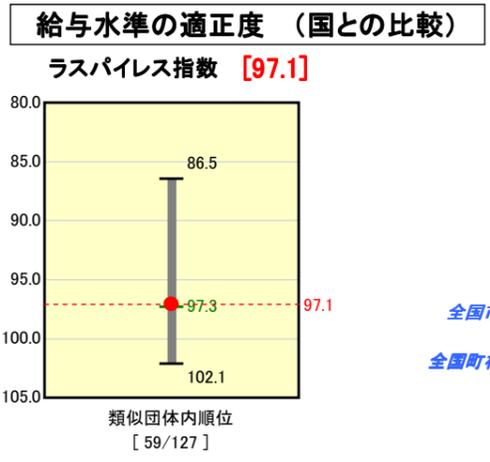
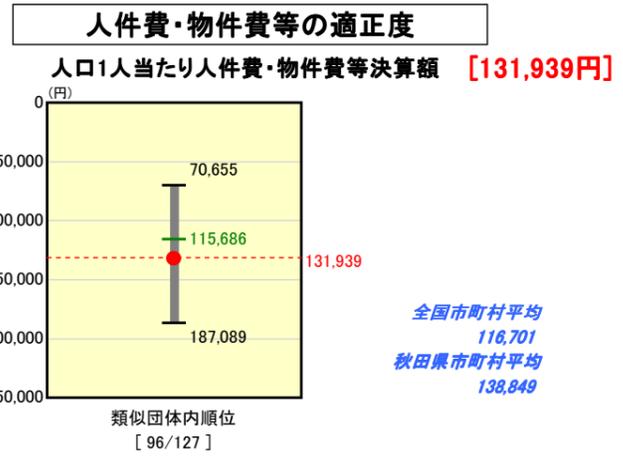
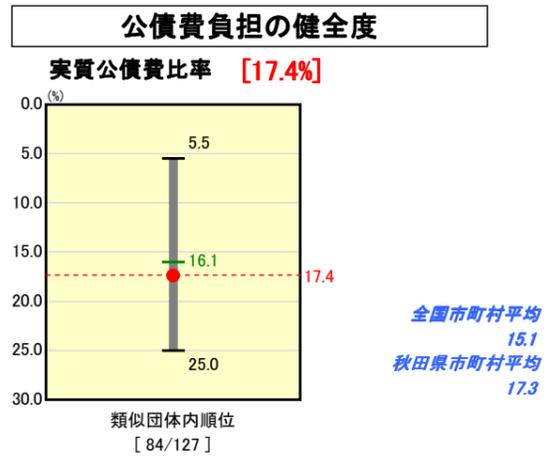
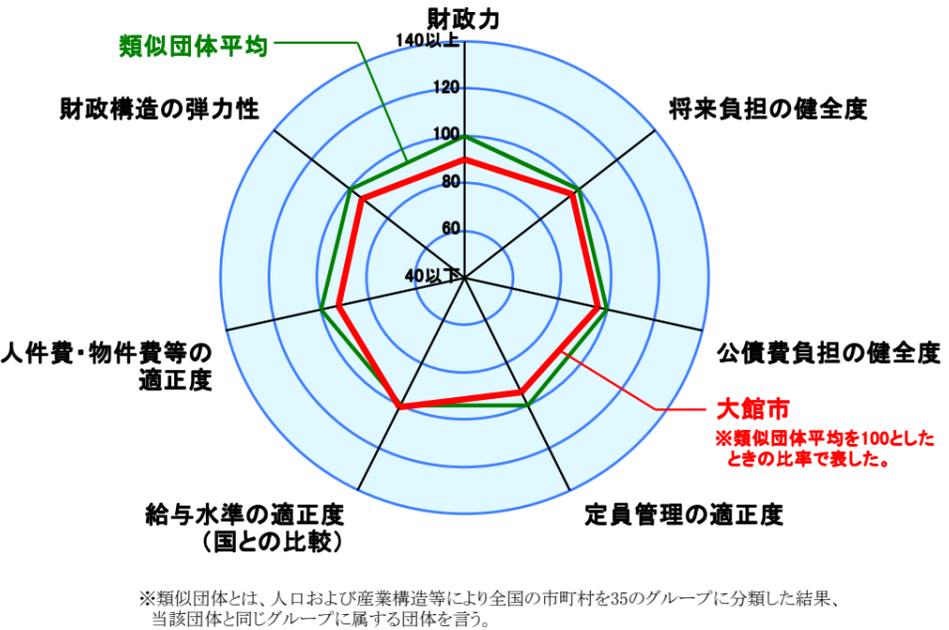
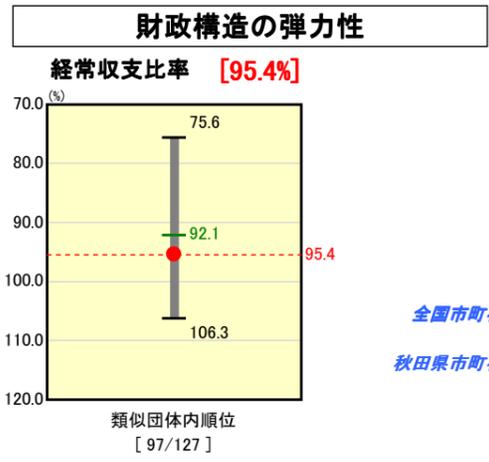
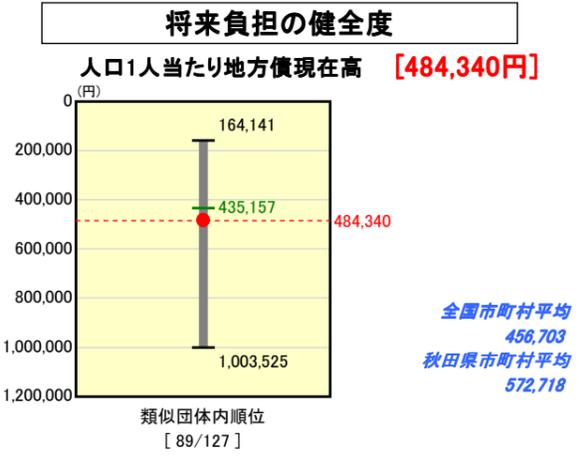
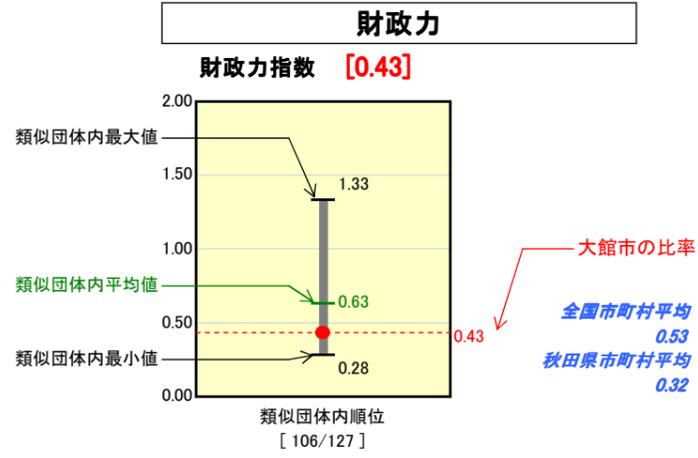


# 市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

## 秋田県 大館市

人口	83,118人	(H19.3.31現在)
面積	913.70	km <sup>2</sup>
歳入総額	31,982,830	千円
歳出総額	30,972,939	千円
実質収支	940,827	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

**財政力指数:**  
中央に比べ、地方の景気は改善がみられず、人口の減少、高齢化の進展などにより税収も伸び悩みの傾向が続いている。財政力指数は全国平均より下回っており、今後とも債権管理委員会、特別滞納対策室を通じた全庁的な滞納対策を行うなどして、収納率の向上を図る一方、人件費の抑制を行うことで、歳出面の改善を図っていく。

**経常収支比率:**  
95.4%と全国平均、県内平均を上回っており財政の硬直化が進んでいる。これは過去の普通建設事業の償還費がピークを迎えていること、また合併により人件費が増加していることなどによるが、今後は職員数を22年度までに114人削減するとともに機構改革により、事務事業の見直しや、施設の統廃合、人件費、物件費、補助費の抑制を行っていく。

**実質公債費比率**  
17.4%と全国平均、県内平均を上回っており、普通会計及び企業会計を含め、適債事業の優先度や内容を精査し、計画的な借入を図っていく。

**人口1人当たり地方債現在高**  
484千円で、県内平均より下回っているが、全国平均よりも上回っている。今後も適債事業の選別を図ると共に、大規模な起債事業が重複しないような事業計画を策定し、起債の抑制と平準化を図る。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
132千円で、前年よりは7千円減少した。県内平均より下回っているが、17年度合併により決算額が増加したため全国平均を上回った。今後、職員採用の抑制を図り、職員数の適正化や各施設の統廃合等による維持補修費の削減など、歳出面の改善を図る。

**ラスパイレス指数**  
現在は全国平均を下回る97.1%となっているが、今後も各種手当の見直しを図っていく。

**人口1,000人当たり職員数**  
9.32人で昨年より0.12人減少した。県平均を下回っているが全国平均を1.5人上回っており、一般行政職等職員数を適正定員に近づけるため、22年度当初までに新規職員採用を抑制し、114人の職員を削減する。